

「お練り祭り」

年代を 超えて交わる 幌（ほろ）の中 右に左に 舞う獅子頭

耳たぶさん

「名桜」

乱世より 飯田の土地を 見続けた 令和に咲きぬ 安富桜

ペフさん

「オーケストラと友に音楽祭」

名古屋フィル 飯田へ期待を 胸に秘め 心奏でる プロの交響曲

（シンフォニー）

ロシア人 アターシャオナゴスキーさん

「そらさんぽ天竜峡」

眼下には ざざ虫電車と 舟下り 眺望最高 そらさんぽかな

川柳おじさん

「エスバード」

水引も 宙への夢も 集う場所 飯田の叡智 未来を拓く

ラズうさきさん

「TOJ」

焼き肉の 香る山々 走り抜く TOJと 応援の声

ラズうさき母さん

「丘の上」

街並みは 碁盤の目なる 小京都 思い出だらけ シン丘の上
照れマークさん

「風越山」

車窓から 見えるシンボル 風越山 飯田に帰省 したと実感
ロシア人 アターシャオナゴスキーさん

「天竜川」

伊那八幡・天龍峡の港から 河川に響く 舟下りの櫓
ロシア人 アターシャオナゴスキーさん

「猿庫の泉」

深き山 水湧きたたえ 人集う 四季折々を また楽しまん
ラズウき母さん

「水田」

寂しいか 草が伸びてて 荒れ放題 田んぼの名残 案山子の手足
川柳おじさん

「ダム」

森の奥 静かに暮らし 支えつつ 和みの時も 与えるダムか
ラズウきさん

「花火」

夜に咲く 週末ごとの 火の華を 見られる幸せ 有難きかな

「焼肉」

牛に豚 鶏(とり)におたぐり ジビエ肉 メ(しめ)はジンギス

ラムだっちゃっ!

ロシア人 アターシャオナゴスキーさん

「伝統野菜」

源助を 高齢夫婦 育てつつ 軽トラ荷台 積む初冬

メガランチョおじさん

「人形劇フェスタ」

人形で 世界と飯田が 結びつく 言葉の壁こえ かよわす心

いばらき姫

「りんごん」

あしなみを 揃えて踊る 夏の夜(よる)

掛け声あわせ ホイオイなそれ!

虫の呼吸

「盆踊り」

踊り(をどり) 舞う しずしずと行く 時代(とき)を越え

精霊たちも ともに踊らん

ラズウき母

※「をどり」はロシア人・アターシャオナゴスキーさんのアイデアです

「秋祭り」

幼き日 指輪にはしやぎし 秋祭り 歓声なきまま 花火上がるや

ラズうさ

「飯田線」

笑顔舞う 飯田線には 夢を載せ 秘境駅にも 都会にも行く

照れマーク

「松川町」

清流に フルーツたわわ 実りゆく ごぼうとポーク 松川町よ

照れマーク

「大鹿村」

ろくべんが 大鹿歌舞伎を 引き立てる 騒動あれど

おシャシヤのシャンよ

照れマーク